

備前市事務事業評価表

事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業		コード	視聴覚ライブラリー
			03-02-05-02	担当者 川口 進
事業実施期間	昭和46年度～			
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目	生きがいのあるまちづくり		
	小項目	図書館・視聴覚ライブラリー		
	施策	視聴覚ライブラリーの充実		

事業について	
目的	備前市内にて活動する諸団体に対して学校教育及び社会教育に関する視聴覚教具の貸出供給を行うことにより、参加者の学習意欲向上を支援する。
対象（誰のために）	視聴覚教材を使用し、視聴覚教育を行う市内の団体
内容	視聴覚教育振興に関する講座・講習等の開催、視聴覚教具等の貸出及び充実整備、教具等の目録の発行

事業の結果							
実施項目							
17年度							
回数など		回数など		回数など		回数など	
教材ビデオ・DVDの貸出団体数	63 団体						
教材ビデオ・DVDの貸出本数	125 本						
視聴覚機材の貸出団体数	114 団体						
教材ビデオ・DVDの購入数	15 本						
事業費							
事業費		財源		事業費		財源	
直接事業費	427	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
人件費	2,910	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債	
合計	3,337	一般財源等	3,337	合計	0	一般財源等	0
必要人員	0.45	人		人		人	
結果指標①	結果指標名	教材ビデオ・DVDの貸出団体数					
	結果指標量	63					
	単位	団体					
	対前年比	—					
結果指標②	事業費	3,337,000		円		円	
	単位当たりコスト①	52,968		円		円	
	結果指標名	視聴覚機材の貸出団体数					
	結果指標量	114					
	単位	団体					
	対前年比	—					
	事業費	3,337,000		円		円	
	単位当たりコスト②	29,272		円		円	

事業の成果			
成果指標名	教材及び機材の貸出団体(延)数	式又は説明	教材ビデオ・DVDの貸出団体(延)数 + 視聴覚機材の貸出団体(延)数
17年度			
成果指標量	177		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	230	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：備前市立視聴覚ライブラリー設置条例
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	課題認識	合併に伴い、日生・吉永地域の小学校等からの貸出依頼も徐々に増えている。同地域での親子映画会により幼児クラブ等へライブラリーの存在をアピールする必要がある。
Webにより備品予約を行えるようにするため、施設予約システムの準備を進めてきた。これにより利用者は休館日でも予約状況が確認できるようになり、新たに申請書を提出する必要がなくなる。また、電話等による問い合わせ対応の減少及び台帳管理が不要となり、事務が省力化される。利用はWeb環境を持っている方に限定されるが、積極的に利用を呼びかけていく。		
予算額の縮小により、新規に購入するソフトは利用の多いジャンル(人権問題・学校教育等)に偏る傾向にある。		

総合評価		評価区分
コメント	新作ソフトの購入数が少ない状況が続いており、よく利用されている団体ほど教材の選択肢が限られてしまう、という悪循環が起こっている。利用率を上げるため、日生・吉永地域にも積極的な広報を行う必要がある。	<A~E> B

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	80
結果指標量②	120
目標値	200

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	DVDプレーヤーの貸出を促進し、ソフトの利用率を上げる	H18から継続	現状ではVHSに比べ、DVDの貸出件数が少ない。画質の劣化が無く、保存上有利であるため、DVDを優先的に購入しているが、利用率が低いままでは意味を成さない。必須事項として改善を実施する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。